

令和元年度奈良県職員採用 I 種試験（追加募集）を次のとおり実施します。

令和元年 9 月 13 日

奈良県人事委員会委員長 松 村 二 郎

令和元年度奈良県職員採用 I 種試験（追加募集）案内

令和元年 9 月 13 日

奈良県人事委員会

受付期間 令和元年 9 月 20 日（金）午前 9 時～10 月 15 日（火）正午

第 1 次試験日 令和元年 10 月 27 日（日）

※ 試験の詳細は、人事委員会事務局ホームページの [I 種試験] (<http://www.pref.nara.jp/39076.htm>) をご確認ください。なお、この試験案内で「ホームページ」と記載した箇所は、上記を指します。

令和元年度奈良県職員採用 I 種試験（追加募集）を次のとおり行います。

1 試験職種・採用予定人員等

試験職種	筆記試験分野	採用予定人員	職務内容
総合職	建築	6 人程度	知事部局（本庁・出先機関）、教育委員会事務局、水道局などに勤務し、一般行政全般に従事します。 （注）筆記試験分野「設備」は、電気又は機械のいずれかを選択してください。
	設備（注）	2 人程度	
	化学	1 人程度	

※ 採用予定人員は、現時点での見通しですので、変更になることがあります。

※ 受験者の試験の成績が一定以下の場合、合格人数が採用予定人員を下回ることがあります。

※ 複数の筆記試験分野を申し込むことはできません。詳細は「8 受験手続」をご確認ください。

2 受験資格

(1) 次のいずれかに該当する人

--

- ① 平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
- ② 平成10年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は令和2年3月末日までに卒業見込みの人
- ※ 日本国籍を有しない人については、在留活動に制限のない在留の資格を有する人に限ります。

(2) 地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人

- ・ 成年被後見人又は被保佐人（民法の一部を改正する法律の規定により従前の例によることとされる準禁治産者を含む。）
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験日時及び試験会場

試 験		試 験 日 時	試 験 会 場
第1次 試 験	筆 記 試 験 適 性 検 査	10月27日（日） 受付開始 午前8時15分 試験開始 午前9時00分 試験終了 午後5時00分頃	奈良県自治研修所 （奈良市大安寺1－ 23－2）
第2次 試 験	第1次試験合格者について、11月17日（日）～11月19日（火）のうち指定する1日に奈良県奈良総合庁舎（奈良市法蓮町757）又は奈良県自治研修所において実施します。 （掲示及びホームページで発表するとともに、第1次試験合格者に通知します。）		

※ 指定された第2次試験の日時及び会場は、変更することはできません。

4 試験の方法及び内容

次により、第1次試験及び第1次試験合格者に対する第2次試験を行います。

試験	種目	配点	内 容
第 1 次 試 験	教養試験	100点	公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。40題出題し、全て必須解答です。なお、出題分野は一覧表を参照してください。 (2時間)
	専門試験	100点	専門的知識及び能力について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。30題出題し、全て必須解答です。なお、出題分野は一覧表を参照してください。 (2時間)
	論文試験	100点	各分野ごとの課題により大学卒業程度の知識、構成力、表現力などについて筆記試験を行います。(800字程度) (1時間15分) ※ <u>採点は第2次試験で行います。</u>
	適性検査	—	公務員として必要な適性について検査を行います。
第 2 次	口述試験	400点	グループワーク及び個別面接による試験を行います。

試験			※グループワークは、受験者数により実施しない場合があります。
----	--	--	--------------------------------

※ 合否決定は、次のとおり行います。

第1次試験については、教養試験及び専門試験の合計得点（200点満点）により決定します。

第2次試験については、論文試験及び口述試験の合計得点（500点満点）により決定します。（得点と同点の場合は、第1次試験の結果で判定します。）

※ 各試験種目（適性検査を含む。）のうち、一つでも受験（受検）しない場合は棄権とみなします。

※ 各試験種目（適性検査を除く。）には、それぞれ合格基準があり、一つでも基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

5 面接カードの提出について

(1) 入手方法：試験案内配布開始日より、ホームページに面接カード様式を掲載しますので、各自ダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、必ず10月15日（火）正午までに、人事委員会事務局まで連絡してください。

(2) 記入方法：記載事項について、受験者本人が直筆で記入してください。

(3) 提出方法：第1次試験日（10月27日（日））に試験会場で提出してください。

※ 第1次試験日に試験会場で提出しない場合は、第2次試験を受験できません。

6 受験上の配慮

身体障害者手帳等を有する人等で、拡大文字による受験、手話通訳、車椅子の使用等を希望する場合は、申込時に特記事項欄に内容を入力してください。併せて、必ず申込期間中に人事委員会事務局まで電話又は「お問い合わせフォーム」（<https://www.secure.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=1537>）により連絡してください。申込期間中に連絡がない場合は、対応できません。

なお、申出の内容によっては、試験実施上、配慮できない場合もあります。

※ 職務の専門性から、点字による受験はできません。

7 合格発表

--	--	--

区 分	時 期	方 法
第1次試験合格者発表	11月8日（金）午後3時（予定）	奈良県庁及び奈良県奈良総合庁舎（奈良市法蓮町）に受験番号を掲示するほか、合格者に通知します。
最終合格者発表	11月27日（水）午前9時（予定）	

※ 第1次試験合格者及び最終合格者の受験番号は、合格発表後2週間、ホームページでも確認できます。

8 受験手続

申込受付期間	9月20日（金）午前9時～ <u>10月15日（火）正午</u> ※最終日はシステムが混み合う恐れがあるため、余裕を持って手続きしてください。
申込方法	インターネットによる電子申請（スマートフォンからの申込みも可能です。） ※ <u>インターネット申込ができない方は、必ず10月4日（金）正午までに連絡してください。</u>

※ 申込みができる試験分野は一つに限ります。人事委員会事務局で申込みを受理した後は、理由の如何を問わず変更を認めませんので、内容を十分確認の上、申し込んでください。

※ 同一の受験者から複数の申込みがあった場合は、申込みが受理される前に受験者が取下げた場合を除き、最初に行われた申込みを有効とします。

※ 申込みから受理までに要する時間、処理状況の確認方法及び申込みの取下げ方法については、ホームページをご確認ください。

[インターネットによる受験申込手続の流れ]

(1) 利用者登録

- ・ ホームページの [申込方法] 内、 [申込みはこちら (電子申請システム)] を選択し、電子申請システムに接続してください。
 - ・ 利用者登録がまだお済みでない方は、画面上部の [利用者登録] をクリックし、手順に従って利用者登録を行ってください。(登録したパスワードは必ず控えておいてください。)
- ※ 利用者登録をせずに受験申込をすることもできますが、なるべく登録されることをお勧めします。

(2) 受験申込

- ・ (1)で登録した利用者ID及びパスワードによりログインの上、 [手続き申込み] → [手続き一覧] の中から [令和元年度奈良県職員採用I種試験 (追加募集)] を選択し、受験申込手続を行ってください。
 - ・ 申込完了後、直ちに申込完了通知メールが自動送信されます。
- ※ 申込完了通知メールに記載されている整理番号及びパスワードは、受験票のダウンロードに必要です。申込完了通知メールは削除せず、大切に保管してください。
- ※ 申込完了通知メールが翌日になっても届かない場合は、必ず人事委員会事務局までお問い合わせください。(申込完了通知メールが届かない場合は、申込みは完了していません。)

(3) 受験票の印刷

- ・ 申込内容の審査が完了すると、審査完了通知メールが送信されますので、その内容に従って受験票をプリントアウトし、必要事項を記入の上、写真 (最近3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向縦4cm、横3cmのもの) を貼って試験当日に持参してください。
- ※ 審査完了通知メールは原則として申込締切後に送信します。審査完了通知メールが10月16日 (水) 午後5時までに到着しない場合には、必ず10月17日 (木) に人事委員会事務局までお問い合わせください。

9 合格から採用まで

- (1) 人事委員会は、最終合格者を試験分野ごとの採用候補者名簿に成績順に登載し、各任命権者の請求に応じて採用候補者を成績順に提示します。
- (2) 任命権者ではさらに健康診断、意向聴取等を行い、採用者を決定します。

(3) 採用は、原則として令和2年4月1日以降の予定です。ただし、平成9年4月1日以前に生まれた人で学校既卒者については、令和2年4月1日より前に採用されることもあります。

(4) 採用候補者名簿は、原則として1年間有効です。

(5) 受験申込の内容に虚偽があると、職員として採用される資格を失う場合があります。

10 日本国籍を有しない人の任用について

「日本国籍を有しない人は、公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わることはできない。」とする公務員に関する基本原則に基づいた任用がなされます。

(1) 日本国籍を有しない人は、各任命権者が定める次の職以外の職に任用されます。

ア 「公権力の行使」に携わる職（代表例）

- ・ 許可、認可、免許等処分に関する事務（各種営業許可、開発許可、建築確認等）
- ・ 報告の徴収及び検査に関する事務（保険医療機関等に関する報告の徴収、各種立入検査等）
- ・ 県税の賦課決定、徴収及び滞納処分に関する事務
- ・ 補助金・交付金の交付及び貸付金の貸付けの決定に関する事務
- ・ 審査請求に対する裁決に関する事務
- ・ その他個人、法人その他の団体の権利義務に直接具体的な効果を及ぼす事務

イ 「公の意思の形成への参画」に携わる職

- ・ 県行政についての企画、立案又は決定に参画する職とし、原則として「所属長及び本庁課長級以上の職」などです。

(2) 日本国籍を有しない人は、採用時に「在留活動に制限のない在留の資格」がない場合は採用されません。

11 給与

現行の初任給月額が200,304円（大学新卒で、奈良市内勤務の場合の地域手当を含む。）で、このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの条件に応じて支給されます。

なお、初任給は、採用前の経歴等に応じて加算されることがあります。

12 試験結果の開示

この試験の受験者は、下記のとおり奈良県個人情報保護条例に基づき口頭により開示を請求することができます。

なお、電話等による請求では開示できませんので、受験者本人が本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券、個人番号カード、健康保険証、国民年金手帳等。※写真が貼付されている書類の場合は1通、写真が貼付されていない書類の場合は複数）を持参の上、直接、人事委員会事務局（奈良市法蓮町757）までお越しください。

開示請求できる人	開示内容	開示の期間	開示の時間
第1次試験の不合格者	第1次試験の総合得点、種目別試験結果及び順位	第1次試験合格者発表の日から1月間（11月8日（金）から12月9日（月）まで（予定））	午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けておりません。）
第1次試験の合格者	第1次試験及び第2次試験それぞれの総合得点、種目別試験結果及び順位	最終合格者発表の日から1月間（11月27日（水）から12月26日（木）まで（予定））	

13 その他

(1) 第1次試験日（10月27日（日））は、次のものを必ず持参してください。

- ・ 受験票（写真を貼ったもの）
- ・ 面接カード（必要事項を記入したもの）
- ・ 筆記具（HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）数本、黒のボールペン、消しゴム）

- ・ 昼食

※ 筆記具は貸与しません。

(2) 試験中にスマートフォン等の携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身につけていた場合及び机の上又は机の中に置いていた場合は、不正行為となるので注意してください。

(3) ホームページに受験申込状況等の情報を掲載します。

(4) ホームページに教養・専門試験の例題及び論文試験・グループワークの課題例を掲載します。

また、県政情報センター（県庁舎東棟1階）において閲覧できます。

(5) 災害等で試験が実施できない場合等の緊急のお知らせは、ホームページに掲載します。

教養試験・専門試験問題出題分野一覧表

種目	試験分野	出題分野
教養試験	全試験分野	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能
専門試験	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画（都市計画、建築法規を含む。）、建築設備、建築施工
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	化学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学・無機工業化学、有機化学・有機工業化学、化学工学